

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立北スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		98.8%
達成率		123.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.1%	95.8%	3.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.0%	95.2%	0.8%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	82.0%	95.7%	-13.7%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	24,053,532	19,447,431	1,029,723	清算金増額のため
	計画	23,023,809	23,023,809		
利用料金収入	実績	7,371,450	5,749,610	372,250	コロナによる営業時間短縮、利用者様の活動自粛などにより計画を下回る結果となっております。
	計画	6,999,200	6,964,500		
その他収入 (自主事業収入)	実績	14,042,994	11,074,504	-1,239,306	コロナによる営業時間短縮、利用者様の活動自粛などにより計画を下回る結果となっております。
	計画	15,282,300	15,178,800		
合計	実績	45,467,976	36,271,545	162,667	
	計画	45,305,309	45,167,109		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	16,822,503	14,218,895	-377,097	営業時間短縮により従業員の勤務時間減のため
	計画	17,199,600	17,020,800		
物件費	実績	18,116,690	15,654,818	363,234	電気・ガス単価の高騰のため
	計画	17,753,456	17,512,652		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	10,702,066	8,910,134	792,366	講師料の増額のため
	計画	9,909,700	10,623,500		
合計	実績	45,641,259	38,783,847	778,503	
	計画	44,862,756	45,156,952		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	123.5%	S	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・物品購入は必要最低限数を一括仕入れにより購入。 ・ペーパーレス化の促進。 ・空調及び照明の管理による光熱費削減 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。 ・利用者アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。 ・従業員が直接話をお聞きし、改善すべきところは早急に改善。 ・直接いただいたご意見を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。

6 外部専門家意見

<p>第1体育館の施設稼働率が前年度を上回り、また第2体育館も微増に留まるものの、両施設の稼働率は高い水準に戻りつつある。その一方で、民間事業者がノウハウを有する多目的室の稼働率が前年度を13.7%下回っていることは適切ではない。利用料収入は前年度と今年度の計画を上回っているものの、自主事業収入は、前年度よりも増収しながら、結果的には今年度の計画に達していない。民間事業者が公の施設の経営を担うことによって期待されることは、魅力的でクオリティが高いプログラムを提供し、施設利用者の満足度をアップさせることと、施設利用に対して二の足を踏む市民の施設との距離感を縮め、施設利用へと導くことである。前者については、高い利用者満足度を得ていることから成し得られていると評価できる一方で、施設稼働率の低下や自主事業収入の未達は、指定管理者を担う民間事業者として、その責務を重く受け止めてもらいたい。加えれば、自主事業収入が計画を下回っているにもかかわらず、自主事業の支出が計画を上回っているという事業効率の悪化について、十分な説明をしてもらいたい。全体としては、黒字化しているものの、経営ノウハウを有する民間事業者として、この不適切な状況を改善してもらいたい。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立扇町プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		72.6%
達成率		90.8%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		78.4%
達成率		98.0%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	98,540	74,337	24,203
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,646	11,599	6,047
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	33,899	21,899	12,000
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	73,069,738	75,832,568	23,838,738	清算金分が増額されたため
	計画	49,231,000	49,231,000		
利用料金収入	実績	59,234,891	42,568,305	-16,872,909	12月工事休館により利用料収入減 利用者は増加しているもコロナ前までの利用者ま では回復しなかったため
	計画	76,107,800	75,195,800		
その他収入 (自主事業収入)	実績	44,377,619	29,601,349	-5,745,137	12月工事休館に伴い教室が実施出来なかったため
	計画	50,122,756	49,585,556		
合計	実績	176,682,248	148,002,222	1,220,692	
	計画	175,461,556	174,012,356		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	62,751,149	58,415,100	-12,315,851	工事休館により従業員の勤務が削減
	計画	75,067,000	73,902,600		
物件費	実績	105,382,401	86,139,095	13,974,101	水道光熱費の単価上昇のため
	計画	91,408,300	90,911,300		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	11,203,448	10,808,183	1,906,092	計画より教室数を増加したため
	計画	9,297,356	9,205,556		
合計	実績	179,336,998	155,362,378	3,564,342	
	計画	175,772,656	174,019,456		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	90.8%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	98.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・備品管理台帳による備品管理の徹底。 ・物品購入時は必要最低限数を一括仕入れにより購入。 ・第2電力による電気使用料削減 ・ペーパーレス化の促進 ・清掃はスタッフにより実施し、委託料削減 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・従業員にお客様の声シートを配布し、ご意見に対する回答を書きとめ情報を共有。 ・意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。 ・アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。 ・従業員が直接話をお聞きし、改善すべきところは早急に改善。 ・直接いただいたご意見を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。
--

6 外部専門家意見

<p>ワクチン接種会場として利用されたり、工事にともなう休館期間があったりしたものの、利用者数が前年度の実績を上回ったことは評価できる。利用料収入は、上記のような理由を踏まえて、今年度の計画を下回ったものの、前年度よりも増収している点も評価できると思う。ただし、利用者数がコロナ前までの数値に回復しなかったのであれば、今後の回復状況を見極めた計画の見直しが必要と思われる。その一方で、自主事業の収支構造は適切だと判断しがたく、収入が計画を下回っているにもかかわらず、支出が計画を上回るという状況は、経営ノウハウを有する民間事業者として適切な状況とは言い難く、市民の日常生活が戻った現在、次年度は、増員・増収のみならず、事業効率の改善を必ず果たしてもらいたいと思う。今後も教室数を増やすのであれば、収支状況の見直しを行う必要があると考えられる。また事業報告書の記載に関して、「利用者の意見や満足の把握・反映の取り組み状況」の記載が、極めて抽象的で、画一的であるため、記載内容を次年度は、改めてもらいたい。加えれば、利用者満足度が目標値に未達であるという原因を分析・解明し、その改善策についても事業報告書に記載するべきである。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立下福島プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		75.4%
達成率		94.2%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		77.8%
達成率		97.2%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	35,749	77,053	-41,304
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,300	8,393	8,907
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	32,251	24,383	7,868
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	121,619,646	98,764,341	75,236,046	精算金分増額
	計画	46,383,600	46,383,600		
利用料金収入	実績	25,986,013	35,294,834	-32,857,687	8月～3月の8カ月間、屋内プール天井工事のためプール利用料減
	計画	58,843,700	58,137,100		
その他収入 (自主事業収入)	実績	28,641,333	36,927,804	-36,850,023	8月～3月の8カ月間、屋内プール天井工事のためプール利用料減
	計画	65,491,356	65,016,156		
合計	実績	176,246,992	170,986,979	5,528,336	上記事由による収入減
	計画	170,718,656	169,536,856		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	81,597,031	89,989,166	2,362,831	時給アップおよび雇用維持
	計画	79,234,200	78,169,300		
物件費	実績	79,874,394	84,931,870	-3,607,206	プール備品、水道光熱費の減
	計画	83,481,600	83,011,600		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	11,741,306	10,093,912	3,312,150	修繕費増
	計画	8,429,156	8,357,456		
合計	実績	173,212,731	185,014,948	2,067,775	上記事由による支出増
	計画	171,144,956	169,538,356		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	94.2%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	97.2%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 物品購入時は必要最低限数を一括仕入れにより購入。 空調および照明の管理による光熱費削減 ペーパーレス化の促進 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> 意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。 利用者アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。 従業員が直接話をお聞きし、改善すべきところは早急に改善。 直接いただいたご意見を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。

6 外部専門家意見

<p>コロナ禍からの回復傾向が見られ、屋外プールが前年度実績よりも倍増したことは、市民の日常生活が戻った現在、次年度の実績に期待が寄せられる。屋内プールについては、8ヵ月の長期間に及ぶ改修工事のため、利用者減が余儀なくされたと思うが、年間の3分の2を閉鎖していた屋内プールの物件費が計画の95%も支出に至っている状況について詳細な説明を求めたい。自主事業収入についても、施設の閉鎖が影響していることは推測でき、計画よりも収入が4割程度であるにもかかわらず、自主事業支出が計画を4割以上、上回っている実態について、詳細な説明を求めたい。また利用者満足度が目標値を下回っているのは、フル稼働していたトレーニング室のことを踏まえれば、施設閉鎖の影響だけではないと考えられ、そのような点についても分析や説明が事業報告書に記載されていないことは、満足度を重視する民間事業者として、非常に不誠実に感じる。次年度においては、コロナ禍や長期休館により減少した顧客の回復に努めるとともに、施設全体の利用者満足度向上に尽力していただきたい。人件費の計画に時給増及び雇用維持が考慮されていない場合、これらを考慮した計画の見直しが必要と思われる。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	